

第 20 回関西 MISt 研究会 開催報告

去る 2017 年 10 月 21 日（土）に梅田スカイビルタワーウエスト 36 階にて「第 20 回関西 MISt 研究会」を開催いたしました。

西は兵庫、東は滋賀、北は京都、奈良、南は和歌山そして大阪と比較的遠方から近畿に台風が接近中で足場が悪い中もかかわらず 127 名ものご参加をいただき、無事終了しましたのでご報告いたします。

また、横浜から福田先生、浜松から戸川先生も飛び入り参加いただき大いに盛り上がりました。普段参加されない大阪労災の岩崎先生や堺医療センターの河野先生にも参加いただき普段の MISt とは違った目線からの意見も頂いて非常に参考になりました。

今回の研究会ではテーマを「高齢者、骨粗鬆症に対する MISt 手術支援機械および手術手技の工夫」とし、第 20 回記念という意味もあってテーマを絞った主題シンポジウム形式としました。

” 高齢者への手術の対策” として聖隷浜松の佐々木先生には出血対策の実際を、関西労災の大和田先生には CBT を用いた小侵襲の PLIF 及び骨粗鬆性椎体骨折への応用を、関西電力の片山先生には XLIF の手技を用いた椎体骨折手術を、丸太町病院の原田先生には変性側弯への MISt 手技を、淀川キリストの笹岡先生には CT navigation の実際（利点及び欠点）について御講演いただき、普段の学会とは違った迫力あるビデオ講演をしていただきました。骨粗鬆症のトータルマネージメントとしての特別講演をこの後秋田大学の宮腰尚久先生にさせていただきました。

第 2 のテーマである” LIF の工夫” については大阪日赤の坂本先生に OLIF を安全に行う工夫を、関西医大の石原先生には OLIF と XLIF のそれぞれの利点と欠点を、みどりヶ丘病院の成田先生には側臥位での PPS の工夫とピットフォールそしてバーチャル手術の展望を、和歌山医大の中川先生には XLIF に対してどう navigation を用いて放射線被曝を防ぐかということについて御講演いただきました。

最後は手術支援機械についての第一人者である江南厚生病院の金村徳相先生に御講演いただきました。

また、今回の会の途中にハンズオン、看護師の講演会を設けました。特にハンズオンは 9 社に共催いただき、若手の医師及び看護師で大いに盛り上がりました。また成田先生によるバーチャル手術のハンズオンもあり会場は非常に盛り上がったと思います。

本会は、関西 MIST 研究会としては台風が接近している大雨の中にしては何とか目標の120人以上の参加人数となりました。今回の研究会を成功裏に終えることができたのも多くの会員の先生方、研究会の世話人の方々、協賛脊椎機械メーカー並びに製薬メーカーの方々のおかげと存じます。関係の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

関西電力病院 脊椎外科 手外科 整形外科
主任部長 藤尾圭司

